

第5章 資料編

この章においては、各テーマ別の話し合いの結果（話し合いのシート）、まちづくりディスカッションに係るアンケート結果、参加者の属性の統計、パートナーシップ協定書、実行委員会の運営要綱、実行委員会名簿及び広報を掲載する。

I 各テーマ別の話し合いの結果（話し合いのシート）

各テーマ別の話し合いの結果については、誤字脱字を含めて参加者のみなさまが記載したとおり忠実に再現して記載した。

II アンケート結果

第4次基本計画策定に向けた「みたかまちづくりディスカッション」においては、無作為抽出で選ばれた1,800名に依頼書と一緒にアンケートを送付した。341枚が返信され、返信率は、18.9%であった。

この中で、今回の取り組みについての回答では、約7割の方が今回は都合がつかない、1日だけならば参加をすると回答している。同様に、基本計画策定の認知度の回答では、3人に1人はこの取り組みを知っていた。市民参加への関心についての回答では、3人に1人は他に機会があれば参加したいという結果となった。

初日に参加者に手をあげて回答していただくアンケートを実施した。

この中で、市民会議等への参加経験についての回答では、約96%の参加者がこのような市民会議には初めて出席したと回答した。

最終日に同様のアンケートを実施した。

この中で、まちづくりへの関心の変化についての回答は、約98%の参加者がまちづくりへの関心が高まったと回答した。同様に、今後の市民参加についての回答は、約92%の参加者が今後も機会があれば参加したいと回答した。最後に、今回のような市民討議会の開催についての回答は、ほとんどの方が今後もこのような市民討議会を開催すべきと回答した。

III 参加者統計

参加者の統計については、無作為抽出した1,800人については平成23年8月1日の統計の割合と男女比や年齢比、地域別の統計では同じであった。

ただし、参加者については、男女比では女性の参加者若干多く、地域別では北側の地域の比率が若干多く、年齢では60代の参加者が多くみられた。

IV パートナーシップ協定書、実行委員会の運営要綱及び実行委員会名簿

パートナーシップ協定書は、第4次基本計画策定に向けた「みたかまちづくりディスカッション」実施に関して、三鷹市とNPO法人みたか市民協働ネットワークの間に関係や役割分担、相互協力の内容などを定めたものであり、平成23年7月14日（木）に三鷹市市民協働センターにおいて締結された。

V 広報

今回の事業に関する広報みたかの記事を掲載した。

I 各テーマ別の話し合いの結果 (話し合いのシート)

グループ名	第1回：今でも三鷹で人と人とのつながりが残っていると感じるのは、どのような時ですか？		
作業スペース			
番号	付箋内容	グループ分け	
1	ほのぼのネット新川班 近所のお年寄りの身まわりをしています 年に数回お茶会等老人をおまねきして楽しい一時を過ごしております	無題	
2	地域コミュニティーセンターでの催し		
3	神社でのお祭 学童や地域サークルでの参加		
4	お祭り		
5	町内会の催し	無題	
6	掲示板		
7	町内会の行事(お祭りやもちつきなど)に参加した時		
8	町内会の回覧板やボ金などの用事で、ご近所を回った時		
9	いまつけの床屋で いつもので 通る		
10	地元商店を通じて得る情報		
11	商工祭り等		
12	洗濯物を干して雨が降って来たことを近所の人が教えてくれた時		
13	家庭菜園で取れた野菜をおすそ分けしてくれた時	無題	
14	バス停での手作りのいす		
15	ゴミ出しの様子		
16	3、11時のご近所の声掛け		
17	農家の方と直接話しをし、買物が出来る	投票欄	
まとめ (3つ以内)	町内会及び自主活動グループでの取り組みを通じてのつきあい・つながり		10
	地域主催の祭りへの参加		1
	隣り近所の方との交流	10	
残したい意見	自然豊かなエリアで写真をとっていた時話しかけられた		
	(丸池公園) 稲、もちつき		
	近所の川で写真さつえいを楽しんでいたらおばあちゃんに話しかけられた。		

グループ名	第1回：今でも三鷹で人と人とのつながりが残っていると感じるのは、どのような時ですか？	
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	子どもの友達 学校の行事	地元の
2	地元の友達	
3	商店、お店	
4	青年会(おみこし)	
5	おしゃべりサロン気軽にできる	提言
6	住協、社会教育会館そして、町会、自治会の参加うながす。	
7	緊急共助ネットワークの構築 1.単身高齢者のための、2.シングルマザー、シングルファザーの育児・教育のための、3.青少年のための、4.ホームレスの生活支援のための	
8	災害等を踏まえて絆を考える	
9	いろいろな会合に出席する	
10	ほのぼのネット	
11	町会回覧	
12	公共施設(ゴミセンなど)	
13	全く感じられない	
まとめ (3つ以内)	地域や学校の行事	投票欄 4
	公共施設の利用	投票欄 9
	町会	投票欄 1
残したい意見	つながりを感じる事が、まったくない	

グループ名	第1回：今でも三鷹で人と人とのつながりが残っていると感じるのは、どのような時ですか？	
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	つながりはない	無題
2	町(単位)の活動が地域ケアの基本。町会、班、隣組、しゅみ、同好、自らが積極的に参加していく。	
3	地域活動の原状をもっとPRする必要がある。	
4	地元の野菜販売	
5	インターネットで三鷹在住者交流	
6	近所の人とあいさつをする時、ちょっとした品物をいただいたり差し上げたりする時(近所)	
7	隣近所の方と会ってあいさつした時に感じます。	
8	家族と話さずとき	
9	三鷹の地元の人達が冠こんそうさいで、多数集まってワイワイやっているのを見たとき	
10	保育園の父兄同志での集まりで	
まとめ (3つ以内)	家族・隣近所・親せきとの話し合い、交流、あいさつなど(インターネットも)	投票欄 6
	地域の活動(町内会・趣味・同好会・野菜販売)を通じて	投票欄 10
	つながりがほとんどない 仕事で疲れ果てて、それどころでない	投票欄 19
残したい意見		

グループ名	第1回：今でも三鷹で人と人とのつながりが残っていると感じるのは、どのような時ですか？	
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	ゴミセンを利用してるサークルで会う。(休けい時間にお茶をのんで話す。)	無題
2	近所でお葬式があり雨で車に乗り合わせて行った時、ご近所の情報がわかった。	
3	点(ひとり)と線(二人)から面(なかま)へと、自然発生的にコミュニティーを形成する。	
4	お祭りの時誘ってもらう	
5	子どもが、見知らぬ人に声をかけられつれていかれ?そうになったとき、助けもらった	
6	回答板を回す時に、顔を見て声をかける。	
7	近所の方の動向や様子を他の方から聞くとき	
8	マンションのまえにいつもタバコをすっている方のおかげでドロボウが入らなかった	
9	毎朝の散歩中に、出会う人とのあいさつが出来る事	
10	朝、家の前を通る小学生に、声をかける。「いってらっしゃい」(ゴミ出しの時です)。	
11	子どもが、鍵を忘れたときあづかってくれた	無題
12	認知症の病院をつくってほしい	
13	認知症とわかった住所名前の書いた物を持ちあるく	
14	高齢者の方が外で立ててくれるだけで助かることがある	
15	地域の線は人と人から。	
16	助け合う連帯感	
17	困ったときに気持ちを共有しあい多くの方が手をしのべてくれた	
18	住民とあいさつをしたからと言ってそれ以上したくない	無題
19	人と人の結びつきから田となり、コミュニティーが生まれる	
20	知らぬふりは、人と人とのつながり、無効とし、ひとりぼっちになってしまう。	
21	自分から声をかけていく	
22	相手を大切にすることは、自分を、大切にし人と人の、つながりの基本	
23	人と人はおたがいがさま	
24	人は1人では生きていけない。	
25	ひと声が、助け合うははじめの一歩	
まとめ (3つ以内)	日常のあいさつを通じて地域の人とコミュニケーションを形成している時。	投票欄 13
	お互いの思いやりの心を大切にする時。	投票欄 3
	非日常時に、困った時に危機的感情を共有し、多くの方が手をしのべてくれた時。	投票欄 10
残したい意見	認知症の方(本人)の連絡先をつけてもらいたい。	
	認知症の方の病院を作ってもらいたい。	

グループ名	第1回：今でも三鷹で人と人とのつながりが残っていると感じるのは、どのような時ですか？	
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	近所の人から口コミ情報を聞いた時	無題
2	情報を得て行動するとつながりができる	
3	転入をしてきた方がつながりを作るのが難しい	
4	ツイッターなどITでの情報発信	
5	市報は決まった情報が多い。各コミュニティーセンターのサークルのーらんが必要 要情報の工夫	
6	情報のとれる場所・手法がわかれば、関係づくりがしやすくなりつながりを感じる	
7	社会教育会館で講座の受講生同士のつながり	無題
8	O-Cafeなどのサロン、たまり場	
9	サークルづくり	
10	新しいサロンのな場所	
11	高齢者の働く場所づくり	
12	サークル活動が盛ん	
13	ボランティア活動で	
14	ボランティア サロン サークル を通したつながりー広がりをもたせること、コミュニティーセンター活性化	無題
15	子供を通した関係が豊かにするか、課題(子供の成長、関係維持)	
16	子供は西原童館で交流 他校の生徒と	
17	子育て世代は保育園、学校、PTA等のつながりが多い	
18	子供を通した関係の強化 継続	
19	ファミリーサポートを利用している	
20	地域の祭や行事を通じて	無題
21	避難訓練	
22	地域の公共施設のイベント	
23	地域によつての差がある(子供会 おまつりなどのイベントのあるなし)	
24	地イキによつては近所づきあいもさかん	
25	近所の目がある	
26	ちよつと手伝つてほしい、教えてほしいという場(コミュニティーセンター?)	
27	地域・行事を通したつながりー参加しにくい(古さ)ー変化	
28	組織した商店街(会)の宅配サービス兼ねた見守	
まとめ(3つ以内)	ボランティア、サークルなどによる情報・関係づくりの場をいかに広げることができるかー人間関係の豊かさにつながる	投票欄 14
	子供を通したコミュニケーションを子供の成長に即した形で維持し続けることが大切。	投票欄 5
	地域の行事の活性化、参加の仕方、運営の工夫。	投票欄 7
残したい意見	高齢者の働く場所づくり	
	商店街の活用(宅配サービス強化と見守りサービスの提供)	

グループ名	第2回：地域のつながりが希薄になると、何が不安なのか、あるいは何が困るのかについて話し合ってみてください。	
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	病氣、ケガ	日常で助けてもらいたい時に助けてもらえない
2	体が弱ったときに不安	
3	たおれてわからない	
4	死んでわからない	
5	DVがわからない	
6	子どもの虐待がわからない	
7	イザという時 子供をあずかってもらえない	
8	近所の人の顔がわからない	
9	あいさつができてくさびしい	
10	ゴミなどの生活上のアシダントの対応	
11	人とのつながりがなくなる	
12	町会のいみがない	
13	IT機器がつかいづらい	
14	高齢者メール使用(難しいが)・・・	
15	災害の時	
16	火災時など、建物に誰が住んでいて、何をしているかわからない	
まとめ(3つ以内)	日常で、助けてもらいたい時に助けてもらえない。	投票欄 11
	必要な地域の情報が入らない。(イベント、治安情報)	投票欄 10
	災害時、火災時、誰が住んでいるか、何をしているかが、わからない(助けられない)	投票欄 4
残したい意見	メールなどのIT機器がつかいこなせない。	

グループ名	第2回：地域のつながりが希薄になると、何が不安なのか、あるいは何が困るのかについて話し合ってみてください。	
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	情報が入らない。	投票欄
2	助けをもとめられてもどうしてよいかわからない	
3	情報が入らない	
4	自治体(地域コミュニティ)で防犯訓練をする	
5	地域コミュニティでの防犯訓練や催しを実施	
6	町会行事に参加できない。ますます孤独になる	
7	豊かな生活や心のゆとりから遠ざかってしまいう	
8	隣近所の人の顔を知らない為対応しづらい	
9	個人情報がないとすばやい、又的確な対応がおそくなる。	
10	孤独死 育児放棄などがわからない	
11	伝統や古き良き物が失われ易くなる	
12	震災等の緊急時に命にかかわる	
13	病気がなった時、119へTelをするがその後の連絡がこまる	
14	犯罪対さく ちかん、空巢etc	
15	何かあった時に相談する人がいない 病氣、怪我	
まとめ(3つ以内)	災害時、緊急時に正確な情報が入らない	投票欄 13
	犯罪に対応できない(地域のつながりが少ないため)	投票欄 8
	伝統や古き良き物が失われる	投票欄 20
残したい意見	豊かな生活や心のゆとりから遠ざかってしまう	

グループ名	第2回：地域のつながりが希薄になると、何が不安なのか、あるいは何が困るのかについて話し合ってみてください。	
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	一人ぐらして病氣の時	緊急時
2	親が不在の時に子供を保護するすべがない(地震・近所が火事)	
3	独りで倒れたら	
4	普段は地域のつながりははずらわしいが、いざと言うときに初めて不安に	
5	急病になった時に何の人的備えがない	
6	二人暮らしでどちらかが急病になった時	
7	緊急で留守にする時頼める人がいると安心	
8	急用の時など子供を預けられない	
9	じいちゃん・ばあちゃんの知え、と、母がいそがしい時の、子どもの「案内所」やくて地域をつなぐ	
10	困っていい人かいても助けられない	
11	ささいな願い(〇〇を手伝ってほしい 〇〇を教えてほしい)を頼む人や場を知らない	日常
12	カギを忘れて入れなかった時(助けてもらった)	
13	現代社会の病理「大人」「仕事」の「うつ」「子供」へのドメスティックバイオレンス	
14	新しい人が多い地域、入れかわりの多い地域は、そもそもあいさつすらない	
15	家を2~3泊空ける時、郵便物や新聞などの受け取り	
16	地域の自然発生的なケースと人道的にサポートするケースとのミックスにて希薄と不安を無くす	
17	コストのかからない「スペース」で、子供と、大人、老人の「たのしい」イベントで希薄、不安を解消しようする	
18	不審者があっても対応できない	
19	どろほかに家に入られても気づいてもらえない	
20	公園で遊んでいる子供が少なく、午前早く又は夕方になるとかえって公園もこわい	
まとめ(3つ以内)	病氣や災害時など緊急時に頼れる人がいない。	投票欄 14
	日常生活で小さなお願いごとや相談ができない。	投票欄 11
	地域の防犯活動が損なわれつつある。	投票欄 6
残したい意見		

グループ名	第2回：地域のつながりが希薄になると、何が不安なのか、あるいは何が困るのかについて話し合ってみてください。	
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	災害時の情報が入ってこない	災害時
2	災害時に情報が入ってこない場合	
3	災害時、子どもの保護をどうするか(学校から帰宅後)	
4	病氣、災害時 どうすればよいか	
5	子ども・高齢者の安否確認(災害時)	
6	病氣・ケガ等 緊急対応が不能になる	
7	友人・知人・親類等との連絡が不能になる	
8	高齢になっての一人暮らしのとき助けを呼べない	
9	買物等日常生活が不便・不能になる	
10	町内会全体の高齢化	
11	交通ルールの無視による交通事故の多発	高齢化
12	青少年の非行	
13	防犯意識がなくなる犯罪多発	
14	1. 物事に対して無感心 2. 自分勝手になる	
15	交番の人と知り合いになる(防犯につながる)	
16	防犯・防災が不能になる	
17	具体的な、いい病院、安くても良い品を売る店とか、つっこんだ内容が	
18	情報(病院、安い店、習い事など)が入ってこない	
19	一人だと隣近所と知り合う機会がない	
20	近所・お互いについて知り合っておく	
まとめ(3つ以内)	病氣・災害時に情報が入ってこない、子どもや高齢者の安否確認ができない、助けを求められない	投票欄 13
	防犯意識の低下(自分勝手になりがち)	投票欄 8
	町内会全体が高齢化し、買物が不便だったり、何かアクシデントがあったときに対応できない	投票欄 6
残したい意見	交番の人と知り合いになっておくと何かあったときに対応してくれる	

グループ名	第2回：地域のつながりが希薄になると、何が不安なのか、あるいは何が困るのかについて話し合ってみてください。	
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	防犯が手薄になる	無題
2	防災活動	
3	ゴミのちらかり、不始末が進む	
4	地域や市の発展を妨げる	
5	子供の危険を察知する地域の見守りの目がなくなる	無題
6	非常時の連絡方法がなくなる。フザーなどの簡単な方法が必要	
7	きめ細かな情報の伝達が難しくなる	
8	スマホバチの嵐	
9	すでに希薄なので不安・困ることは感じていない	無題
10	恩恵があるのかもしれないが気づいていない	
11	つながりを持ちたいと思っても、動機やきっかけがなかなか持てない	
まとめ (3つ以内)	地域の見守る目がなくなる	投票欄 11
	非常時の連絡方法が無くなる	投票欄 3
	すでに希薄なので不安、困ることが感じていない	投票欄 8
残したい意見	地域の発展を阻害する	

グループ名	第3回：「ともに支えあうまち」の観点から、三鷹市が A-1 どんなまちになったらいいと思いますか？	
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	清潔な町	無題
2	明るいたのしい場所	
3	挨拶・会話のできるまち	
4	孤独死のないまち	
5	助けが必要な人が声をあげられるまち	無題
6	コミュニティを中心に学び集える町	
7	世代間の交流のあるまち	
8	相談できる場所がある	
9	文化活動に参加できる町	
10	「お話し」が出来る町	
11	誰もが居場所のあるまち	
12	コミュニティに参加するきっかけを提供する	
13	子育て支援の充実	
14	コミュニティ参加のきっかけのある	
15	集まる場所があるまち	無題
16	高負担でも行政サービスを充実してほしい	
17	行政で情報の一元化 ゆるやかなネットワーク	
18	行政に相談してそこから地域につなげてもらえる	
19	気軽に出来る交通手段の提供(コミュニティバス)	
20	何か一緒にできる機会をたくさん作ってほしい	
まとめ(3つ以内)	地域の活動への参加のきっかけが、たくさんあるまち (場所、イベント、相談員等)	投票欄 13
	困ったことを相談できる窓口。そこから必要な地域の人 や場所につなぐシステム	投票欄 4
	高負担でも行政サービス等が充実しているまち	投票欄 9
残したい意見	コミュニティバスを増やしてほしい。路線の拡充	
	子育てサービスの拡充。	
	小田急バスの回送の廃止 コミュニティバスがもっと走りまわっている	

グループ名	第3回：「ともに支えあうまち」の観点から、三鷹市が A-2 どんなまちになったらいいと思いますか？	
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	こまった時(市役所へ)Telを入れたら2名位で助けてきてくれるシステムが あればいいア-とと思う	I システム化(官 庁・民間他)
2	だれでも、たのしく、きがねなく、公正で平等な市民のサービスが受けられる スペースをもったまち	
3	困難な事の解決が可能なまち(相談)	
4	ボランティアの人が自分のあいている時間、見守りパトロールに自由に参加 できる様になれる町	
5	経済が活発に観光客も訪れる(活発な街)	
6	地域の親睦	II システムに係わる 問題及び解決案
7	小さな困りごと(お願いごと)を気持ちよく聞いてもらえる人間関係のスム-ス な街	
8	高令者等で孤立している人がないような双方での働きかけ孤立者⇄公共 認知症の人がいない街	
9	ハブリックスペースにまたいきたいな!と思う仲間がたくさんあつまるまち	
10	見守り、声かけ、元気なかおをみんなで確かめあえるまち	III 治安並びに安全・ 安心のできるまち
11	見守りの支援	
12	近所の人から消息を知られている 気にかけてもらえる。そういう家がもれな くある	
13	安全安心	
14	治安が守られている街	
まとめ(3つ以内)	官・民・ボランティア ^ら 他が協力できる体制。	投票欄 6
	だれでもが共有できる、気軽に参加できる場所 (但、個人情報保護法、等をかんがみること)〔個人 のそんげんの重視〕	投票欄 9
	治安並びに、安全・安心にて生活できる、まち	投票欄 6
残したい意見		

グループ名	第3回：「ともに支えあうまち」の観点から、三鷹市が A-3 どんなまちになったらいいと思いますか？	
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	地域的な小さなフリーマーケットを定期的に開けないか	無題
2	日常の情報交換場所確保	
3	マンション住民も関心のもてる場所が必要	
4	拠点となるところが特定の人達だけの出入りだと新しい人は入りにくい。	
5	世代を越えた思いやりを引き出すために、共通のもの(フリーマーケットな ど)を工夫する	
6	小さなことで皆んなが集まる場所をつくる	
7	空室、空家など提案しようしてもらい、大いに活用するようにする。(小さな活 動拠点として)	
8	地域の拠点をつくる どう作るかがむづかしい	
9	よりきめ細かな情報・出会いのネットワークのある町	無題
10	大切な情報を行き渡らせる方法を確立する 口コミが効果的だが むづかしい	
11	顔が見えるきめこまかいネットワークがある三鷹市	
12	ボランティアがたくさん出て来るような活気ある地域になったら良い	
13	リーダーの育成	
14	知らないことが多い。情報の伝え方を多数持った方が良い。口コミ、けい 示板、紙、回ラン板、つながりを持つ場所一特に身近な今、ある場所 を使う。	無題
15	利便な交通網の整備<コミュニティバス>	
16	コミュニティバスなど地域のほしの方まで生きわたらしてほしい	
17	市の中心が手厚く、その他が手薄なので、ある程度均等に	
18	感心のもてる三鷹市(先づ地域から)	
19	一部の人ががんばっているだけではなく そのがんばっている人た ちを支えることができると良い	
まとめ(3つ以内)	より地域に密着した場所作り(既存の場所の充実と 新たな場所作り)	投票欄 7
	情報伝達を、多用に持ち合わせる	投票欄 8
	地域リーダーの育成	投票欄 11
残したい意見	交通の利便の向上(コミュニティバスの整備)	

グループ名	第3回：「ともに支えあうまち」の観点から、三鷹市が A-4 どんなまちになったらいいと思いますか？	
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	地域リーダーの育成支援、施設勉強	交流の中心となるリー ダー
2	人々が交流する場が増える	
3	世代を越えた交流が活発なまち	場・イベント
4	コミュニティまつり、様々なイベントを開催し、皆が集まる場がほしい	
5	アンケートやイベントを増やし、市民参加できる機会を更に増やしてほしい	
6	図書館やスーパー等 誰もが集う場所でも世代間交流の情報や企画を行う ことも大切と思う。	
7	コミュニティセンターが利用し易い雰囲気	
8	集まり易い企画 仲間作り(スポンサー制度みたいなもの)	情報
9	デイサービスと学童保育や幼稚園との連携など、お年寄り子どもがふれ あえるまち	
10	情報 JCN有線テレビ、むさしのみたか市民テレビ局の活用	
11	地域のお知らせを目に付き易く工夫する	多様な人々の交流・ 助け合い
12	新しく住民となった人に情報提供する	
13	市と住民が情報の取約発信を共同できる場・機関がほしい	
14	回覧板「けいじ」板を増設する	
15	三鷹市ならではの特色のあるまちづくり	
16	機管理 災害等に強いまち三鷹	
17	農住共存的まちづくり	
18	異なる世代がふれあう機会をふやすことが大切と感じます。	
19	子供で、介護中、退職された方等、同じような立場の人が集まりやすい サロン的な場がほしい	
20	若夫婦が住み易い街にしたい 家	
21	育児中の母親や高令者も外出しやすいまちになったら良いと思う。	
22	一時的なあすかり保育の確立	
23	足の不自由な方でも外出しやすいように、家の近くまでマイクロバスなどの 交通アクセスがあるまちが良いと思います。	
まとめ(3つ以内)	交流の中心となる地域リーダーの育成支援	投票欄 10
	情報を集約・発信し、世代間の交流の場の運営	投票欄 14
	育児中の母親や足の不自由な方でも気軽に外出できる まち	投票欄 16
残したい意見	三鷹市ならではの特色を生かすまちづくり	

グループ名		
第3回：「ともに支えあうまち」の観点から、三鷹市が A-5 どんなまちになったらいいと思いますか？		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	子どものふる里 愛着がもてる	無題
2	子供に優しい町	
3	子育て世代が住みやすいまち	
4	思い出のあるまち	
5	豊かな教育が受けられる街 教育の充実	無題
6	水のおいしい街	
7	自給自足の街	
8	美しくきれいな町	
9	住環境が良い	無題
10	日中働いている人が活動・集まれる場所があるまち	
11	平日の昼間は市内にいないので休日に集まれる場所があると良い	
12	世代を超えたコミュニケーション	
13	身近な気軽に参加できる会合がある	
14	仕事後に交流できる場がある町	
15	コミュニケーションのとれる町	
16	世代別のコミュニケーションの場がある町	
17	災害等の時に助け合える	無題
18	安心、安全、無公害なまち。	
19	障害者に優しい町	
20	認知症の人が安心して徘徊できる町	
21	高齢者に優しい町	
22	困っていることを相談できる町	
まとめ（3つ以内）	災害時・防犯等に助け合え、子供・障害者にやさしい町	投票欄 9
	高齢者だけで無く昼間働いている人が夜に集まれる場所がほしい	投票欄 18
	豊かな教育の町	投票欄 8
残したい意見	水と緑のきれいな町 （シール1個あり）	

グループ名		
A-1 第4回：「ともに支えあい、安心して暮らせるまち・三鷹」に するために私たちができることはなんですか？		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	お金を出すこと。	行動
2	サービスチケット制(利用者負担)	
3	つなぎ役 NPO ●●●●●	
4	なるべく近くで買い物をする	
5	助けること、出来ることに登録する。	意識
6	労力	
7	助けること、出来ることに加え、やれる時間	
8	近くの便利屋	
9	現状把握が出来ていない	
10	声かけて広める	
11	あいさつ・顔知りのやってほしいこと	
12	隣近所への見守り意識を持つ	発信
13	避難訓練に喜んで参加する	
14	いろんな機会を利用して意見を提供	
15	「お手伝いできますよ。」という意思表示	
16	意見を発信する	
17	市報をよく読む	
まとめ (3つ以内)	隣近所への見守り意識を持ち、声かけを広める (あいさつ・等を含む)	投票欄 11
	積極的に意見を発信・行事に参加する	投票欄 8
	なるべく近くで買い物をする	投票欄 11
残したい意見	労力の提供する	
	サービスチケット制	

グループ名		
A-2 第4回：「ともに支えあい、安心して暮らせるまち・三鷹」に するために私たちができることはなんですか？		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	声をかける	無題
2	自分の心をひらく	
3	いろいろなこととして積極的になる	
4	つながりを広げる	
5	町会の再構築	
6	近所つき合いの復活	
7	お年寄りと子どもの交流の場づくり	
8	ネットワークを緊密にし、網に引っかからない人を作らない。Ex. 留学生	
9	三鷹のいいところをアピールする	
10	三鷹市民である責任をもつ	
11	三鷹市に關心をもつこと	
12	三鷹のよさをアピール(野菜の自動販売機)	
13	バリアフリーをもっと進める	
14	コミセン同士の情報交流	
15	安全・支えあう アイデアを提案する	
16	身近に問題があることを具体的に提案する	
17	次の世代につなげる	
18	子どもの時に三鷹のいい思い出をつくること	
まとめ (3つ以内)	いろいろな人とつながりを作るために、心をひらき声を かけネットワークを築く	投票欄 7
	三鷹市民であることの自覚と誇りをもち三鷹市の良さを アピールし、より良い三鷹のために何が出来るかを 考える。	投票欄 7
	次の世代へ三鷹のよさを伝える語り部を育成する (三鷹の良い思い出をつくる)	投票欄 8
残したい意見	バリアフリーを推進する	
	コミセン間の交流をして学び合う	

グループ名		
A-3 第4回：「ともに支えあい、安心して暮らせるまち・三鷹」に するために私たちができることはなんですか？		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	地域(住民)に関心をもつ	無題
2	自分の周囲に関心をもつ、あいさつをする	
3	近隣とふだんの付き合いが大切である	
4	挨拶・声掛けをする	
5	(弱者が安心して外出できる)公衆マナーを守る	
6	自己管理(不動産、ゴミ出しetc.)	
7	空き家対策	
8	町会がなくなっていく現実もある	
9	見守り隊	
10	子供達の登下校のバトロール	
11	交通対、見守り隊等の充実	
12	交通対、青少年への参加	
13	消防団活動	
14	地域のイベントに参加する	
15	まつりやイベントに参加することもできること	
16	「ボランティアできます」のサインをつける	
17	子育て世帯が住みやすく	
18	年齢構成のバランスを良くする	
19	勤労・納税	
20	若年層も住める町づくり	
21	賃料、地代 若い人が住める価格が必要	
まとめ (3つ以内)	地域に関心を持つ(挨拶、交通ルール)	投票欄 9
	見守り活動・イベントへの参加等	投票欄 14
	それぞれのライフステージで生活を(仕事・子育て・ 地域参加etc.)楽しむ	投票欄 5
残したい意見		

グループ名		
A-4 第4回：「ともに支えあい、安心して暮らせるまち・三鷹」に するために私たちができることはなんですか？		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	地域の子供・おとしよりの動行を「ハアクリ」、名ボ、づくりをし、それに基づ き、できるハンイ内で、サポートする。	無題
2	最新の情報をつねに入手する様に	
3	となり近所の方と、日常的にあいさつができる様に	
4	節電対策の過剰	
5	地域の情報を、できることから、確保し、共有化し、お互いの信頼関係を、 築くようにする。	
6	近隣の地域情報を、はじめは草の根でいどから、すこしばかり発信し、そ の後、情報発信の場を形成する	
7	地域でのあいさつ等で顔見知りになる	
8	自らの健康を増進し、他人に迷惑にならない人になる。	
9	隣り近所の付き合い	
10	自分からの声掛け	
11	地域ケア・ネットワークに積極的に参加する。	
12	地域に密着したあいさつの実行	
13	地域のルールを守る	
14	子供の安全とか防犯に目配りをする	
15	防犯バトロール	
16	地域の交流の場を作る	
17	音楽教室、絵画教室等の交流会	
まとめ (3つ以内)	非常時に正確な情報を自治体及び近所から入手する	投票欄 4
	地域のあいさつ・高齢者の名簿等を作り声掛けを自分か ら進んで行う	投票欄 6
	地域交流の場を作り、子供の安全・防犯等を自分な りに考え行動する	投票欄 7
残したい意見		

グループ名	第4回：「ともに支えあい、安心して暮らせるまち・三鷹」 A-5 するために私たちができることはなんでしょう？	
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	情報発信	ボランティアの充実
2	かんたんなボランティア	
3	自分がボランティアをした分、今度は困った時に助けてもらう制度	
4	地域通貨	
5	どんなボランティアが必要かを教えてもらう	
6	自分のできるボランティアがあったら参加したい。	
7	手助けの必要な人、手助けのできる人を結びつける	
8	私はこんなボランティアができますと表明する	
9	市民居酒屋を作る	
10	地域からの恩恵を自覚する	
11	日常生活の中でのあいさつ、できればもう一言の声かけ	日常生活でのあいさつ、居場所づくり、視野を広げる
12	顔を合わせる事	
13	あいさつをすること	
14	居場所を作ること	
まとめ (3つ以内)	ボランティアをしなくなるシステム作り。(情報発信、ニーズの把握、地域通貨、市民居酒屋)	投票欄 22
	日常生活でのあいさつ、近隣とのつきあい、居場所づくり	投票欄 11
	地域から受けている恩恵を自覚し感謝	投票欄 15
残したい意見	ケーブルテレビのCM等で情報発信	
	市民バーの設置	

グループ名	第5回：基本計画に盛り込んだ方が良くと思うアイデアをまとめてください。	
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	安全な道路計画	
2	原発・東電にたよらない三鷹市独自の電気供給方法	
3	空き家が増えているので防犯上危険。安全に住めるまちづくりを(空き屋対策)	
4	三鷹産の農作物、水の自給率の向上	
5	防災に女性の視点を(男女別のトイレの設置等マニュアルの整備してほしい)	
6	公害のない、子供に良い環境を残すまちづくり	
7	緑と水の公園都市と道路建設の公害問題の矛盾をなくす	
8	自己矛盾をおこさない計画書をつくる	
9	市内の道路整備、せめて歩道は乳母車が通れるように	
10	ボール遊びができる公園	
11	サービス拠点の分散(子育てや介護など)	
12	親の就労の有無に関わらず保育サービスの提供を	
13	地域の中で小学校のバランスの適性化	
14	町づくりが中心を重んじ周辺がおろそか。もう少し均等に。	
15	コミュニティーバスにもう少しきめ細かく末端まで走ってほしい	
まとめ(3つ以内)	緑を増やすのは賛成ですが、交通量が増えることに対する配慮(公害)が必要 外環道路について	投票欄 6
	国に頼らない三鷹市独自の防災対策及び女性視点からの防災(空き屋が増えている)	投票欄 9
	市内でも、不便な場所が多いので、バランスのとれた町づくり、コミュニティーバス、保育サービス、小学校の場所	投票欄 10
残したい意見	子供達が自由に遊べる公園(ボール遊びなど)	

グループ名	第5回：基本計画に盛り込んだ方が良くと思うアイデアをまとめてください。	
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	三鷹シティバス ☆100円に ☆路線拡充	無題
2	駅前広場の見直し(バス・タクシー中心)	
3	見守りボランティアに参加するため、札、ネームをつける	
4	外出時意思表示マーク【見守って ヘルプ!】マーク【サポーター・ボランティア】マーク	無題
5	きがに声かけが出来る サインをおけるサイン、ワッペンをつける、ワッペンのついている人に協力してもらう	
6	危急日常対応 報道相	
7	災害時に対して三鷹市の指針を決めておく	
8	災害時対応弱者保護	無題
9	制電のみなおしてもらいたい、暗い所がありすぎる	
10	災害非常時に対し各家庭に同報無線の配布	
まとめ(3つ以内)	災害時の市の指針を周知する	投票欄 11
	サポーターの意思表示マーク	投票欄 4
	三鷹シティバスの料金を100円にする!	投票欄 8
残したい意見	親が仕事で、子供の教育あそび、を、できない場合において、そのサポートを、する経けんのある、人員の、ペースを、つくる。	
	子供のためのアドベンチャーと「あそび心」から親子で学ぶ、スペース、と、イベント(現在、子のあそび場がない)	

グループ名	第5回：基本計画に盛り込んだ方が良くと思うアイデアをまとめてください。	
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	ボランティアのポイント制で貯めたり、使ったりできる	ボランティア
2	ボランティア通貨を作り、ボランティアをしやすくする	
3	マンパワーの集積(介護、何か教える、子供の見守り)	
4	情報がほしい・防災に関する情報発信 PRを積極的にしてほしい	情報
5	駅のすぐ近くに(会社帰りに立ち寄る)情報発信ステーションを設置してほしい。	
6	新規住民が孤立しないための情報発信	
7	防災無線が聞き取れるようにしてほしい。(補うのは市のホームページ? ケーブルTV(MMCTV)みたくむさしのケーブルTVで各コミセンのイベントを流し、PRする	
8	もっとコミセンへ行こう!(防災関係だと足が向く)	交流
9	コミセンなどのサロンを10時から開けてほしい。(年寄りば朝早いので)	
10	市役所・コミセンなどにもっと足が向くような魅力づくり	
11	仕事をしている人も交流できる時間にオープンしている場	
12	コミュニティー(みたかシティバス)増やしてほしい。安くしてほしい。	
13		
まとめ(3つ以内)	情報発信ステーションの設置(駅前など)	投票欄 19
	コミュニティーバスを増やし、安くする(交流の機会増加)	投票欄 4
	参加しやすいボランティアのすすめプロジェクト(気軽なお手伝い)	投票欄 10
残したい意見	コミセンなどのサロンを10時からオープン	
	仕事している人も交流できる時間にオープンしている場	

グループ名	第5回：基本計画に盛り込んだ方が良くと思うアイデアをまとめてください。	
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	自分ができることをボランティア登録	①
2	地域互いにボランティアを推せんすることは出来ないか	
3	ボランティア募集と運営を盛んに。	
4	多様な分野でボランティア登録(防犯、福祉、子育て等)	
5	ボランティアのマッチングシステム作り	
6	ボランティア促進のための地域通貨	
7	いつでも立ちよれる市民ガーデン	
8	市民だけ限定 市民バー	
9	三鷹市の快通空間づくりの強化	
10	定期的なまちづくりディスカッションやまち歩き、ワークショップを実施し経歴数を増やす	
11	行政に参加できる機会をふやす	②
12	障害者への支援。(バリアフリー)	
13	自転車専用区分。道路を大巾に増やす。三鷹は安全交通都市	③
14	自転車のルールとマナーの徹底教育	
15	市役所内にスガヤル担当を作る。	無題
16	困った時のかけこみ寺	無題
17	コミュニティーバスの100円化と経路を研究する。	
18	コミュニティーバス(バスの少ない路線や時間帯を中心に)	
19	交通整備。(バスの路線を増やすなど。)	
20	震災緊急時マニュアルの作成	
まとめ(3つ以内)	ボランティア活動の推進、募集、登録、運用、のシステムの充実	投票欄 16
	三鷹市民の居場所づくり(市民ガーデン、市民バーetc.)	投票欄 9
	交通安全重点施策 自転車対策 通行区分の明確ルールとマナーの教育 バリアフリー化	投票欄 4
残したい意見	コミュニティーバスの拡充	
	困った時の「かけこみ寺」を市役所内におく	
	震災時の緊急マニュアルの作成、配布	

グループ名		
第5回：基本計画に盛り込んだ方が良くと思うアイデアを A-5 まとめてください。		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	老保一体の施設づくり	同世代・世代間の交流促進
2	住環境がいい町に特化(公園 バーベQ場作る)	
3	市民の意見交換の場づくり、交流促進	
4	デイサービスと保育園との連携など、世代間の交流を市がコーディネート	
5	空き家を使って、ステーションを作る	
6	成人式以外の世代間交流	
7	地元の商店街の活性化(ステーションでの販売)	
8	地域に近い場所に情報・交流施設を設ける	
9	買物し易い近くの店舗をつくる(どんだんなくなってる)	
10	成人式だけでなく、30、40、50、60の式を開催する。	
11	情報の確立等	
12	車いすでも乗れるマイクロバスで自宅近くに細かくバス停を作る。	利便性
13	マイクロバス、ワンボックス程度の車の手段の充実	
14	バス停や商店街にベンチを設置してほしい	
15	コミュニティバスを細かい路地にも通してほしい	
16	子供を預けることのできる場所の充実	
17	コミュニティバス等の路線の充実	
18	道端ベンチをたくさん置く	
19	市から個人宅への出張サービス	
20	バス停などベンチの設置等	
21	子育て支援の充実	
22	なかなか家から出られない人のニーズを把握するため家庭への御用聞き	生きがい
23	元気高齢者の働く場	
24	シルバー人材センター的な働く場所の促進(ボランティア拠点)	
25	行政(三鷹職員)が外に出る活動を増やす	
26	長期的な高齢化対策	
27	働く世代の活用(仕事後や、休日にできること)	
まとめ(3つ以内)	同世代、世代間の交流促進(第一歩としてディスカッションの機会を多く作る)	投票欄 19
	高令者や子育て世代にとっての利便性の向上(マイクロバスできめ細かなルート作り。ベンチの設置。子育て支援の充実。個人宅への出張サービス)	投票欄 8
	高令者の生きがいの場。(仕事場など、活躍できる機会の提供)	投票欄 9
残したい意見	小さな商店を大切に。(チケット制、バス停、スタンプ、等による支援)	
	幼稚園とデイサービス等のタイアップによる交流	
	働く世代の地域貢献の機会を作る(仕事後や休日にできる範囲で)	

グループ名		
B-1 第1回：3月11日の地震の時、あなたの身の回りでは、どのようなことが起こり、どんなことが困りましたか？		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	食器棚は、倒れなかったのですが開き戸を止めてなかったで食器が落ちて割れ、下のじゅうたんに破片が飛び散り後片付けが大変でした。出来ることをしてなかったと反省。	
2	家の中の置き物が倒れた。計画停電の予告に不安があった。スーパーの品切れには困った。	
3	フェセグの携帯も持っていること、電池や懐中電灯の用意、水の用意、食料品の用意が大切だと思った。会社に行っている人は無理に帰宅するのはかえって危険である。すこしい人や車で街があふれていた。	
4	携帯電話が充電できず、情報が入らなかった。	
5	☆家族と連絡とれない	
6	一人暮らしの方の安否がすぐにはわかりづらいのではないかと。	
7	当日、地震がおこっても外出先だったりすると何が今おきて どうなっているのかわからないかかわらなかつた。ディスニーランドや高島屋や帝国ホテルの近くにいた方は適切な対処がなされた話をあとからきいたが、現実どうすればいいかビルからでてウロウロする人が多かった。	
8	家族の安否確認が携帯が通信不可となり、直後が通じなかつた。計画停電と云い出し(東京電力が)自分のグループ分けも二転三転行われなくなつたりよけい不安をかきたてた	
9	☆電車停止(情報不足で不安)	
10	☆外出中で帰宅困難で大混雑(休む場所の確保に困つた)	
11	通信不可(電話&パケットも)	
12	トイレも混雑していた。(飲食店で開放してくれていた店もあった)	
13	福島の人への支援物資を送るのに物流が止まって送れなかつた	
14	被害の大きさによって変わるはずの避難場所がわからない。	
15	違法駐車などで緊急車両の通行路がせまめられた不安	
16	安否確認が取れない。	
17	家族の安否がわからない時、どう行動したらいいかわからない。(迎えにくべきか)	
18	☆計画停電情報に変化しすぎて、どれを信じていいかわからない。	
19	どの情報も信じていいかわからない(計画停電)	
20	TVの地震速報を見ても、何をどう行動したらいいかわからない。	
21	☆防災アナウンスが家の中にいると聞こえなかつた。(計画停電の告知など)	
22	防災無線が聞きとれない。	
まとめ(3つ以内)	【個人】 通信手段の混乱による安否確認と情報不足による不安	投票欄 9
	【起業】 インフラの混乱(通信、道路、施設)	投票欄 9
	【行政】 計画停電・防災情報が聞こえないことによる混乱 *防災アナウンス	投票欄 20
残したい意見		

グループ名		
B-2 第1回：3月11日の地震の時、あなたの身の回りでは、どのようなことが起こり、どんなことが困りましたか？		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	旅行に行っていて子供との連絡がつかなくなつた。	
2	ライフラインがストップしたら対応をどうするか分からない不安	
3	今回は大丈夫だったが停電時、断水時、エレベーター停止時の対応に困る	
4	計画停電	
5	計画停電による心の不安、電池が購入出来なかつた	
6	ガソリン不足	
7	棚の物が壊れた	
8	水が購入できなくなつてた。	
9	地震から数日、電車が完全に止まつた	
10	自宅に帰る交通機関が全て止まり、タクシーもつかまらなく、ほとんど歩いて帰つた	
11	電車が止まって帰宅困難	
12	都心からの帰りに(二次災害)	
13	放射能で外出しないように会社からの通達	
14	情報格差(個々の立場、状況、年令等により得られる情報が違う 職場のちがいで) 広報が聞こえにくいなど	
まとめ(3つ以内)	家族との連絡がつかずに困つた	投票欄 9
	交通機関がストップし帰宅困難となつた	投票欄 10
	情報格差(個々の立場、状況、年令等により得られる情報が違う)	投票欄 12
残したい意見	ライフラインがストップした時の対応に対する不安	
	物資の買占めによる不安	

グループ名		
B-3 第1回：3月11日の地震の時、あなたの身の回りでは、どのようなことが起こり、どんなことが困りましたか？		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	トレイトペーパーがしばらくの間、購入できずストレスで病気になるなりました	
2	電池がなかなか手に入らなくてアイトライオンや懐中電灯が使えなかつた	
3	子供の食料品、水などがなくなつた。	
4	震災後、食糧の買い占めで食べものがなくなり、実家から米やラーメンなどを送ってもらつた。	
5	実際はお米などが店には納入されていたが、みんなが買い占めたりマスコミ報道にあおられ、更なる買い占めにつながつた(人間の心理)	
6	車の運転中で地震がおきた事がわからなかつた 伊藤	
7	交通手段がなくなり帰宅できなかつた	
8	計画停電の時の移動に時間がかかつた。(三鷹駅は入場規制で混雑、武蔵境駅はがら開き)	
9	家族に連絡がとれない	
10	家族と連絡が取りにくかつた。(固定電話、ネットのみ可)	
11	福島の主人の実家となかなか連絡がとれなかつた 伊藤	
12	外出先だったので家族と連絡が取れなかつた事	
13	震災当日、学校に残っている子どもを迎えに行きたかつたが、学校にも学童にも家族にも連絡が取れず、不安だつた。	
まとめ(3つ以内)	家族との連絡が取れなかつた。	投票欄 7
	不安による買占めのため物を買えなかつた。	投票欄 9
	交通マヒのため移動が困難だつた。	投票欄 4
残したい意見	車の運転中は、地震が起きたことに気がつかなくなつた。	

グループ名		
B-4 第1回：3月11日の地震の時、あなたの身の回りでは、どのようなことが起こり、どんなことが困りましたか？		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	帰宅困難 息子(新宿→三鷹)歩4H	
2	返つて家の中に入らなくて悪い思いは、しないで済んだ。(比較的)	
3	最終的に集まる場所の確認	
4	同じマンション内の人との付き合いがなかつたのでお声がけができませんでした	
5	家族安否確認！(通信不通)	
6	家族との連絡 所在の場所	
7	連絡が不通(公衆不通)(けい帯も)	
8	仕事上、高速バス(社教)と連絡が入らなかつた。	
9	震れに対しての正しい知識を身につけたい	
10	備え	
11	まとめ買いのデマ	
12	<水>家族人数×3日分	
13	家族で待ち合せ場所を決めた。	
14	家内の置物を(鏡等)少なくす。(建て掛けない)	
15	スーパーで品物がいっぱい落ちてきて管理上危ないと感じた(パニック)	
16	倒れ防止の必要！！	
17	日ごろからの防災グッズを用意(水・電池・ラジオ等)していた。	
まとめ(3つ以内)	家族の安否確認！	投票欄 12
	帰宅困難！	投票欄 12
	正しい防災知識の習得！	投票欄 25
残したい意見	近隣の人とのコミュニケーション不足と必要 3日分 日ごろからの防災グッズの準備【水(家族人数)×1人2L)・電池・ラジオ等】していたので助かつた	

グループ名	第2回：3月11日を振り返って、個人や家庭で、どんな備えをしてあげよかったですか？	
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	待ち合せ場所を決めておく	
2	避難経路の確認	
3	家族との集合場所を話し合っておく	
4	避難経路の確認(安全)と避難場所の備え状態の確認	
5	神戸の役所から聞いた話して地震直後あわてずに動いたこと	
6	電話番号等の情報を携帯電話に入れておかず(停電の時を考慮)手帳等に保存しておく	
7	保険・銀行 個人として必要な情報(番号)の備え	
8	家具固定	
9	情報入手方法(ワンセグ)	
10	日ごろから車の燃料を満タンにしておく	
11	〇下へおりの時の綱 〇食料のつめかえ	
12	携行食料	
13	電池・ラジオの準備	
14	ふだんから保存食を買う	
15	トイレ用ペーパー等を多めに	
16	山登りをしていて関係でテント、シュラフ、コンロを処分しないで置いてある	
17	家族分のヘルメットの確保	
まとめ(3つ以内)	個人として必要な情報(番号)の備え電話番号等の情報を手帳等に保存、	投票欄 9
	避難経路・集合場所の確認、*家族との会話	投票欄 2
	備蓄品の工夫→買い物上手になる!	投票欄 9
残したい意見	登山用品・ヘルメットの確保	
	直後は、あわてない	

グループ名	第2回：3月11日を振り返って、個人や家庭で、どんな備えをしてあげよかったですか？	
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	食品の備え(水も含む)	
2	非常金を、各自持っている(ATM停止) 100円玉×5千円分 1000円×3万円	
3	会社に行っている人は2~3日の食料とか水とくつをいしつらい 掃宅は水へん	
4	3日分の食料(水(家族人数×28×3日分)ラジオ・電池等、防災グッズを用意している)	
5	家の耐震をきちんとやりたい 水・食料をそなえを又確認したい	
6	缶を携帯する	
7	てんからはしない!いつ地震がおこるかわからないので...	
8	ふるの水を捨てて確保しておく	
9	マンションで水道のポンプが停電で止まり、いつもフロアは満水!(トイレ用に)	
10	環室には何も家具を置いていない。	無題
11	防災キットの活用 独居の高齢者の方(住所・連絡先・病院・薬等の情報の入ったものを冷蔵庫にはる)	
12	家の構造に対する不安	
13	神戸の地震を経験した方の話をき(機会をもうけて きたるべき直下型にいかにならなければいけなくて)	
14	緊急避難、一次避難、二次避難と防災グッズの持ち出しを分けて備えようと思った	
15	三層に本物の森はあるのだろうか?(苗木を育ててもいつも、ムダになる。引取手が無い)防災に役立つ、明治神宮のような、照葉広葉樹の森が	
16	シイ タブ カシの木が防災に役立つ話をきき、近年次々と老人が亡くなり、分譲住宅に宅地化されるところのないことを残念におもった	
17	ペットへの公的支援が遅れがちなので、他の地域のペットつながりのネットワークが大事	
18	ペット(家族)にマイクロチップを入れておいてよかった。万一の離ればなれに再会のチャンスが増す。	無題
19	木の扉を防災袋に入れた。	
20	家族であるペットを含め安心して避難できるよう、非常時に備えてシェルター、ペット可避難所の準備が必要	
21	家族との集合場所の確認	
22	待ち合せ場所(二中の体育館)に決めた!	
23	家族が実際に災害伝言ダイヤル等を使いこなせるよう練習させてあげよかったです	
24	ドコモのモード災害用伝言板に登録している!	無題
25	家族との連絡手段の確認	
26	〇連絡先の明確化	
27	90をこえた老人をいかに直下がきたらにげる手だけが出来るか 神戸のけいけんをされた方の話をきいて不安だ	
まとめ(3つ以内)	水・小銭・非常時に備えた必要最低限の物の確保(地震・停電など) (食料・薬・防災キットなど)	投票欄 11
	ペットも家族なので、フード・水・迷子札(マイクロチップ)などの準備とペット同伴の避難に備えた環境・ネットワークの整備	投票欄 17
	家族と確実に安否確認できるようにする。	投票欄 7
残したい意見	火災等に強い種類の樹木による森の育成・維持(ex.シイ・タブ・カシ)	
	天ぷらは揚げない	
	家の構造のチェック(今ある家の構造)	

グループ名	第2回：3月11日を振り返って、個人や家庭で、どんな備えをしてあげよかったですか？	
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	大きい長方形の鏡(家具)を立て換えてあったが、半分、割れていて危なかった。	
2	電池 懐中電灯を何本か、使える物を確保する	
3	最少限...だれが必要なる防災グッズは何か。(消費期限が切れてしまう為)	
4	α米(食料品、非常食)の確保。	
5	米や水を2~3ヶ月分は備蓄しておきたいと思った。(防災リュック、電池、懐中電灯も含めて)	
6	携帯電話の充電(ソーラー or	
7	数日分の食糧を備蓄すること	
8	帰宅までのルートの確認(ハザードマップに加え、実際に見てみる)	
9	災害時の車を乗り回すシステム(ナビで流すとか)	
10	代替の交通手段の確保(職場に自転車など)	
11	携帯トイレ	
12	インターネット回線の予備回線	
13	災害時の自家用車を控えるべき 公共車を優先すべき	
14	防災のための事前の知識。	
15	情報発信のあり方を改めて考え、自分にとってのよい情報のとり方を考える	
16	電車が止まったら掃宅しないで勤務先にいる勇気が欲しい	
17	トイレの場所	
18	掃宅時の交通混雑を避ける為の知識	
19	職場の方針の確認(泊まっていいか、等)	
20	どんな人ともうちとけられるコミュニケーションカ!(人間性...?) 誰かと一緒に辛い状況も乗り越えたい	
21	地域の人や保育園、幼稚園の親同志のコミュニケーションを深め、いざというときに支えあうようにしておくといふ。(子どものお迎えの依頼など)	
22	近所とのコミュニケーションを普段からとること	
23	災害時に助け合える近所づきあい。(日ごろから)	
24	保育園の迎えを頼める人(人間関係)	
まとめ(3つ以内)	【人】 困った時に助け合う 人的ネットワーク!!	投票欄 19
	【物】 食料品等の備蓄、防災グッズの備え。	投票欄 5
	【情報】 各家庭における帰宅ルートの確認、情報取得の為の備え(充電器、ラジオ etc.)	投票欄 12
残したい意見	・トイレの場所、情報を充実させておきたかった。	
	・災害時の自家用車の規制。(乗り合いをする仕組。)	
	災害時の心構え。(会社に止どまる勇気!!判断)	

グループ名	第2回：3月11日を振り返って、個人や家庭で、どんな備えをしてあげよかったですか？	
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	備蓄用 電池不足を考えていなかったので、内容の再確認と補充	
2	電池の不足	
3	乾電池、ラジオ、乾パン等 備えてあげよかったです。	
4	①防災グッズの中身は何か一番必要か 当座の現金	
5	玄関にはきもの(クツ)をそろえておく。ガラスの破片等でケガをする	
6	ひなん場所をきめていない	
7	連絡がつかない時の家族とのう合わせ	
8	家族間での避難場所の取り決め	
9	連絡をつける対策をとっておく	
10	市で設定した避難場所はほんとうに安全ですか。(人口密度が高い所有)	
11	食器戸棚は倒れなかったのですが、とびらが開いて、中の食器が下におちて、じゅうたんの掃除が大変でした。とびらを止めることをしてあげよかったです	
12	転倒防止器具を購入設置してあげよかったです	
13	すぐドアは必ず開放する	
14	タンス等の近くに寝ない(廃棄処分)	
15	町内会入会してない家庭が多い	
16	町内会の伝達方法	
17	正しい防災知識の(避難場所、情報収集の方法)習得をしてあげよかったです	
18	防災マップ(避難場所 防災施設 コンビニ etc.)が欲しい	
まとめ(3つ以内)	防災グッズの中に必ず当座の現金を入れる	投票欄 18
	町内会のあり方と人数の把握	投票欄 17
	正しい防災知識(詳しい防災マップ等)	投票欄 14
残したい意見	防災器具の市からの購入取り付(高齢者住宅)	

グループ名		
B-1 第3回：今後大きな災害が起こった時、あなたや三鷹のまちのことで心配なことは何ですか？		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	情報の不足 どう確認をするか	
2	避難所、備蓄量等の事前情報	
3	公共施設等の耐震化の情報	
4	避難所の収容人数 備蓄状況に不安	
5	ケアが必要な人を全体に把握する方法はないか？(民生委員さんやケアマネさんにはしているだろうか)	
6	家が狭小路になっていて、大雨のとき下水があふれてしまうのではないかと いう心配	
7	30年前前は老人会の方々らしき方が公道をはき、下水溝の掃除をして下さっていたが、それをみなくなった。大雨の時の定期的な行政による下水溝の清掃をしてほしい	
8	自治会がないので近所どう連携をとってよいかわからない	
9	人的ネットワーク助け合い不足	
10	高齢の疑をどうやって避難させようか？(歩けない、昼間はひとりきり)	
11	近所とのネットワークか遠い地域と希薄な地域と格差がある	
12	マンション内の交流がない 避難経路 消化器の所在 表示	
13	火災の延焼の不安	
14	道幅がせまい 避難する時に不安	
15	緊急車両や歩行困難者のために道幅の確保	
16	各所で火災がおきた時に消防の方で数的に対応できるのか。広葉常緑樹による防火防災の街づくりをしてほしい	
17	自主の耐震化をすすめていく 携帯をワンセグにする	
18	医療や防疫が心配	
まとめ (3つ以内)	情報の不足(避難所状況 耐震化 要支援者状況 等)	投票欄 6
	人的ネットワーク(自治会がない 高齢者の避難 格差)	投票欄 12
	火災発生(道幅せまい 延焼 消防車入らない、非難、防災対策)	投票欄 8
残したい意見	大雨で下水があふれる一予想される事前情報	
	医療や防疫	

グループ名		
B-2 第3回：今後大きな災害が起こった時、あなたや三鷹のまちのことで心配なことは何ですか？		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	危ないと感じた時、ちゅうちょしないで、声を上げる、行動する	
2	地域の声、市民の声を寄せる	
3	災害が起きた時に1歩がふみだせない	
4	近所のトラブル 誰に言ったらよいか分からない。	
5	一人暮らしで倒れたら(連絡できなくなったら)どうしようかと心配になる。	
6	店(商店)の大事さを痛感した。	
7	飛び込みやすい商店などが欲しい	
8	有事と判断して行動できる人がいるか？否か？	
9	情報を受け入れてくれる方がいるか？(不信者?)	
10	非難訓練をもっと具体的に、もっと充実させる	
11	火事・災害時の非難経路の認識	
12	防災訓練の魅力不足	
13	行政側からの災害教育の徹底	
14	避難場所への道順(現地へ行けるか？道がせまい)	
15	子供の時から、防災の教育が必要と感じる	
16	災害直後の危険物の認知	
17	天井と天井の電燈 その下に寝ないというが現在の天井は天井電燈は大丈夫なのか	
18	狭い道が多く消防車が来てくれるか不安	
まとめ (3つ以内)	相談相手(人) 危険箇所の相談先(近所、行政、民生委員)	投票欄 4
	教育、情報 わかりやすい防災教育 (子供の時から、魅力のある、具体的)	投票欄 17
	インフラ 狭い道、危険な場所の存在 (消防車の通れない？崩れる、etc)	投票欄 8
残したい意見	細かいことを真剣に受け入れてくれる(行政)窓口がほしい。	
	防災訓練の魅力不足(9/1は暑すぎる 3/11はどうか?)	
	店(商店)、学校、会社の防災上の役割を痛感した。	

グループ名		
B-3 第3回：今後大きな災害が起こった時、あなたや三鷹のまちのことで心配なことは何ですか？		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	防災対応のまちづくりができていないのか	
2	道路がせまく交通まひの時、救急車が通れない	
3	道路がせまいので	
4	三鷹の水は安全と思ってたのに、3月には赤ちゃんに危険な状態になった	
5	生命財産につき助けを求めた場合、助けてくれるだろうか	
6	三鷹市は自衛隊との連携が出来るのか？合同防災訓練を実施しているか？	
7	固定電話を持っていないので携帯電話の不通が心配	
8	独り暮らしなので、自分の生存確認を誰も出来ない	
9	火災旋風	
10	避難場所確認 野川公園ですか？ 広域避難場所どこ	
11	1の災害のかけに、29の軽い事故 3000のヒヤリハット	
12	水害(以前より環境は悪化しているのか?)	
13	三鷹市民意識に大自然を敬う言がない。	
14	民生委員さん知らない	
15	ひとりらしの地域のひととの連絡の確認ができにくい	
16	屋敷独居世帯、乳幼児のいる世帯のはあく	
17	町内会にも入れない賃貸マンション	
18	まず自分自身が無事であること	
まとめ (3つ以内)	道路がせまく、救急車等が通れない!! (特に人見街道・山中通り)	投票欄 14
	三鷹市と自衛隊の連携ができてくるのか?!	投票欄 22
	地域のネットワークができてない!!	投票欄 8
残したい意見	大自然(土地に当たった)防災まちづくりができてない?！のでは、	
	独居世帯、乳幼児のいる世帯の確認をどうするのか!!誰がするのか、	
	安否確認の方法	

グループ名		
B-4 第3回：今後大きな災害が起こった時、あなたや三鷹のまちのことで心配なことは何ですか？		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	狭い道路に消防車が入ってこられるのか(運雀通り、井の頭の住宅街等)	
2	消防車が入れない道が数多く市内に存在	
3	運雀通り、人見街道等歩道が非常に狭く、避難経路としてどうなのか	
4	道が狭い場合 自転車がどこを走って良いかわからず危ない。	
5	駅前や商店街の中で災害が起きた時どうしたら良いのか	
6	交通の便が混雑しすぎるので遅れないから心配	
7	新川の乱流、玉川上水等	
8	商店が密集している駅南口が避難時に将棋倒しが起きたり火災時に燃え広がりがやすかつたりしないか	
9	飲料水、電気が止まった時の供給について心配(情報)	
10	病院に人がつめかけた時に混雑した時が心配	
11	(対策)回覧板を復活させてはどうか。	
12	ペットをどこに連れていけばいいのかわからない	
13	一人暮らしのお年寄りをどう守ってゆくのかわからない	
14	近くの幼稚園などの小さなお子さんが心配(地域で助け合う人員を派遣できるシステムづくり。)	
まとめ (3つ以内)	道路が狭い!!商店街、古くからの住宅地等運雀通り(中町通り~狐久保交差点)緊急時に消防車・救急車が通れない道が多い	投票欄 8
	子どもたちやお年寄りを近所で協力してサポートするしくみができていない(含ペット)	投票欄 7
	災害時における総合病院への傷病者の集中パニック 大病院を目指してしまう心理(安心感を求めてしまう)	投票欄 14
残したい意見	回覧板を復活させてはどうか	

グループ名		
B-1 第4回：私たちが「災害に強いまち・三鷹」をつくっていくために日常生活の中で取り組めることはなんでしょう？		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	安全な部屋の確保	市への働きかけ(都市計画等、個人ではできないこと)
2	転倒防止器具の設置	
3	安全な部屋づくり	
4	自宅廻りの整備	
5	体を鍛える	
6	個々の意識を高める	
7	日頃の訓練が精神力を養う	
8	災害にあっても思いやりの気持ちを常に持つ	
9	防災訓練に参加する	
10	子供連への教育	
11	子供たちへの正しい教育	
12	被災時の情報の取得(防災訓練への参加)	
13	備蓄の食料等	
14	遠くの肉親との日頃の付き合い。	
15	地方との付き合い	
16	他県との継がり	
17	近所の道路 避難経路の把握	
18	近所との信頼関係の構築	
まとめ(3つ以内)	自分の事では日頃より防災訓練に参加し、体を鍛え精神力を養う	投票欄 17
	自宅廻り及び屋内の安全確保、大人を含め子供達への防災教育をてっている	投票欄 5
	ご近所との継がりや他県との継がりを密にする	投票欄 8
残したい意見	個人ではできない事を市へ働きかける	

グループ名		
B-2 第4回：私たちが「災害に強いまち・三鷹」をつくっていくために日常生活の中で取り組めることはなんでしょう？		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	散歩、通勤等を利用して危険な場所を探す	無題
2	普段(日常)、気が付いた時は、声を出す。	
3	防災保全林(どんぐり)の苗木を育てる 常緑広葉樹(照葉樹)の苗木	
4	おやじの会に参加する... 地域のコミュニティに積極的に参加	
5	普段から学校や地域の行事になるべく顔を出して人脈を広げる。	
6	普段のコミュニティ作り(助け合い)の精神が大事。気持ちを進める。	
7	地域・学行・等相互連携を強化	
8	同じマンションの中での防災訓練に参加している。	
9	声かけ運動	
10	日ごろから友人作り あいさつ運動	
11	地域のみなさんとネットワーク作り 日ごろのおつき合い	
12	日頃からの家族との話し合い	
13	地域の避難場所やいざというときにかけこめる場所を家族と確認しておく	
14	避難場所を決める	
15	保育園と高齢者の施設を合わせたようなお年寄りの自尊心を傷つけないかたちのネットワーク作り希望	
16	まずなサロンのようなお茶のみ会があると嬉しい	
17	各家庭で非常食を準備する	
まとめ(3つ以内)	防災保全林(どんぐり)の苗木を育てる トロロの森復活!! 椎、樫、タブ	投票欄 17
	日頃からのあいさつ運動	投票欄 12
	地域の防災訓練に参加する	投票欄 5
残したい意見	きずなサロンのようなお茶のみ会	
	保育園と高齢者の施設を合わせたような施設	
	危険な場所を見つけたら声を出す	

グループ名		
B-3 第4回：私たちが「災害に強いまち・三鷹」をつくっていくために日常生活の中で取り組めることはなんでしょう？		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	防災器具を必ずつけておく	
2	防災は日頃の準備	
3	家の1部分でも命を確保できる場所(耐震工事) 市の補助がつかいやすいように	
4	命を確保する場所を個人及び市で確認して安全なところをつくる	
5	おやじの会のお話はともたためたが「実生活に於いて三鷹市の小・中学校に現在通っている家族がいない者(例えば私立に通っている子の世帯、子供が昔は通っていたが成人したので 現在 学校と無縁の者、子供のいない者等)には対象としていない様に思う、いろいろな立場の人が参加ができるものがあつたらいい	
6	地域や身近にいる人々どうしが助け合う、声かけ、	
7	市民レベルでの話し合いを常に持つ(防災に限らず)	
8	避難場所や防災倉庫や給水所などをチェックポイントにしたウォーキングラリーなどのイベントを地域(学区?)ごとでやってみる	
9	防災庫のカギの保管など個人の責任が重くなるものをコンビニなどに協力お願いして	
10	市民への啓もうとして年に数回 市の防災課の方が歩いていける範囲の施設を利用して(教育)お話や情報を流してほしい	
11	防災講習会、訓練への進んで参加して、仲間意識をつくる	
12	駐車違反をしない等々常日ごろから緊急自動車が通れるように各々注意する	
13	30年前には公道の清掃にきてくれたが下水道にたまった落ち葉、泥を月に1回以上とはいわないが とりにきてほしい	
14	住民カード(IDカード)を各自持っている	
15	常緑の広葉樹が火災の防火に良いと昨日書いた。市がとりくんで街路樹などに防災を考えて植樹をしてほしい	
16	美しい街づくり(下水道のそじ、不法占拠物の取締、ゴミそじetc.)避難経路の確保	
まとめ(3つ以内)	共助のための地域の連携と啓蒙、例、防災庫のカギの所在 避難場所 備蓄品の場所	投票欄 10
	家の1部分でも命を確保できる場所 *耐震工事などの市の補助を使いやすくしてほしい(分かりやすくして欲しい)	投票欄 15
	緊急車両が通れるよう各自注意する。	投票欄 6
残したい意見	各自IDカードを持つ	
	常緑の広葉樹の植樹を防災に有効として取り組む	
	公道・側溝の清掃	

グループ名		
B-4 第4回：私たちが「災害に強いまち・三鷹」をつくっていくために日常生活の中で取り組めることはなんでしょう？		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	事前に避難場所、経路を確認しておく。	個人・家族
2	☆[17]を家族皆で使って確認しておく。	
3	帰宅経路を調べておく	
4	防災施設・無料Tel・コンビニ 場所の確認	
5	子供に「楽しみながら」防災について学ばせる教育づくり。大人と	
6	震災対策(自分でできることはしたいが、判断基準がない)	
7	家具の転倒防止の件につきけんどうして下さい。	
8	普段から防災グッズを備えておく 期限の確認	
9	最悪を想定した教育！も必要	
10	災害時に工夫できる情報を共有する。(ツナの缶づめはろうそくにも、食料にもなる!!)	
11	普段使用している病院や連絡先の控えをコピーして携帯しておく	
12	・掲示板を復活させてはどうか。	
13	インターネットで「地域の掲示板」的なものをつくってはどうか。	
14	町内掲示板を利用して防災の準備や訓練を周知する	
15	・小さいグループでもいいので近所での防災訓練に参加する。(初心に戻って、ネットワークづくりも含め)	
16	・回覧板を復活させてはどうか。	
17	・災害弱者対象の連絡方法を確認 設置	
18	・普段から小さな事から気をくばり合える関係づくりを意識してやる。	
19	・ネットワークについて人材 確認しておく	
20	・1家に1台(もしくは災害弱者に)IPパッドを配布し情報を共有する。(お年寄りもつかいやすい)	
まとめ(3つ以内)	【個人・家族でできること】・教育←子供にはたのしみながら！(避難場所・経路・171・最悪の事態)・備え(できることは自分で行いたい→判断基準要!)	投票欄 14
	【町内で行う(行いたい)こと】 ・アナログ方式の復活！→掲示板・回覧板	投票欄 8
	【町内で行う(行いたい)こと】 ・デジタル方式も将来を考え試行する。←インターネット活用	投票欄 5
残したい意見	iパッドは災害弱者に有効!	

グループ名		
第5回：基本計画に盛り込んだ方が良くと思うアイデアをまとめてください。		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	地域のネットワークをより具体的に進める	←
2	地域のネットワークの構築	
3	コミュニティセンター(コミセン)の活用と住民の参加	
4	学校・児童館・地域の連携を深める	
5	三鷹ケーブルテレビの活用	
6	三鷹ケーブルテレビの活用(防災・天気・地域のお知らせ・ニュース)を全家庭、見れるようにする	
7	子供達 教育に防災をとり入れる	
8	学校教育(防災教育)の充実。小さい時から身に付ける事の大事さ。	
9	防災セミナー等 小さな単位で開催して、参加しやすくしてほしい	
10	防災林を増やす!! 緑をふやす	
11	防災林(森)を増やす。(無くさない)	
12	公共のミニバスを廃止してほしい	
13	公共ミニバスを増やしてほしい	
14	人見街道・山中通り 自転車専用レーンのある通りなどを広く計画してほしい	
15	道路を広くする	
16	道路幅の整備(自転車と歩行者)	
17	市議会の議員さんの働きを、地域版型型にしてほしい	
18	乳幼児のいる世帯、独居(昼間のみも含む)の高齢者の世帯の確認	
19	行政に依頼することと自己責任を分けて考える(個人の意識の改革を促す)	
20	各個人でIDカードを持つ	
まとめ (3つ以内)	小さい時からの防災教育	投票欄 19
	地域ネットワークの構築(コミュニティセンターの活用)	投票欄 7
	公共のミニバスを増やす。(100円)(EVの活用)	投票欄 12
残したい意見	防災林を増やす!!	
	市議会議員の活用。	
	道路の整備・拡張。	

<欄外>全世帯に三鷹ケーブルTVがみれたら!!

グループ名		
第5回：基本計画に盛り込んだ方が良くと思うアイデアをまとめてください。		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	啓蒙のための防災情報をまとめた新聞を市で作成して各家庭に定期的に配布すべきではないか	
2	ケーブルTV三鷹利用	
3	市の情報(防災教育)・ケーブル・広報・新聞を使って定期的に広める	
4	日頃の学校教育	
5	防災教育(おやじの会的活動を広める)子どもへ基本的内容	
6	防災ポスター(poki)を駅や人通りの多いところに貼る	
7	防災に関するキャラクターを作る(ご当地レンジャー?)	
8	ケーブルTV三鷹をつかう。pokiをキャラクター化して防災に興味をもってもらおう!!	
9	【防災訓練を楽しむするために】会場で炊き出しを行い、食事を提供する超巨大釜でギネス記録を狙う	
10	防災訓練参加者に現金あるいは商品券(地域振興券)を配布する	
11	月に1度防災の為に公報車を走らせる。意識を高めるため	
12	三鷹市民が興味を持つ『今日のとなりの防災対策』的なおもしろいTV番組(※お宅の壁は大丈夫?)づくり	
13	誕生日などに市から防災グッズをプレゼント(ヘルメット etc)	
14	公約を守らない、守れない議員に対する 罰則を設ける	
15	各家庭を訪問して防災教育	
16	防災訓練の会場で消防車の中に乗れるようにして子供や家族連れにアピール	
17	啓蒙用のマンガを作って子供のいる世帯に配布	
18	☆防災訓練 防災教育と融合させた防災祭りを行う☆	
19	3月1日には昔防災ズキンをかぶって踊る楽しいイベントを開催(ヘルメット可)	
20	ジブリと協力CM(ACの権な)を作成	
21	「皆様の税金で活動しています」とアピールして利用しないと損だと思わせる	
22	セットバックについての法律を変更する。→セットバックしやすくする	
23	水はけの悪いアスファルトは水害の原因となりかねないため、自動車の通る箇所以外は透水性のよいパネルを用いた舗装に更新するべきではないか	
24	自転車の交通状態を良くするための対策づくり(自転車通行帯をつかってほしい。)	
25	介護ヘルパー利用の(各ケアマネ)介護度 地区毎の 色別一覧を利用できるネットワークを作る	
26	災害時医療コーディネーター避難所での医療体制(各分野の専門、横のつながり、ネットワークの活用)	
27	◎防災の意識を高める工夫を取り入れて欲しい!!	
まとめ (3つ以内)	【防災訓練】積極的参加への工夫。楽しくやろう!! ・緑日と融合させた防災祭り(税金使用をアピール) (会場で炊き出しを行う)。(3月11日防災ズキンをかぶってイベントするetc.)	投票欄 16
	【防災啓蒙活動】・ケーブルTVを利用して(キャラクターはpokiを起用!! かわいく楽しく!!)番組をつくる。 ☆新聞やポスターetc.をつくる。	投票欄 9
	【行政にやってほしい事】・道路整備において自転車などの通行帯をつくってほしい。・アスファルトを透水性のあるものに変えてほしい。	投票欄 4
残したい意見	避難所での医療ネットワークを早くつくってほしい。	

グループ名		
第5回：基本計画に盛り込んだ方が良くと思うアイデアをまとめてください。		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	防災意識を高める	目的
2	自分の街の意識	
3	自然(安全さ)と利便性のバランス	
4	子供が長く住める町にする	
5	防災教育の充実	
6	学校以外のコミュニティ加入のきっかけ作り	
7	多様な世帯の配慮	
8	人間関係では健康に生きられない。自然を敬い、自然に学ぶ教育を小学生から	
9	町内会のあり方もアナログとデジタル両方でやれないか? 町内会のホームページ開設	
10	ずっと住むために交通が問題	
11	公共・民間の交通網の強化	
12	子供(小学生)くらいから防災教育	
13	道路拡張	
14	道路をひろくする。(れん省通り)	
15	インフラ・道路拡張・建て替え支援	
16	自然(との共生)の尊重・教育	
17	大気汚染の解消	
18	防災林を植える	
19	植林→大気汚染の対策(明治神宮の森)	
20	美濃に人命を救った清澄庭園や明治神宮の森のような環境づくりを	
21	中国(万里の長城周辺)やアマソンの熱帯雨林も復活させた「宮脇方式」の森づくりを(5年)	
22	避難所の耐震工事が先では?	
23	新川公園予算の再考(250億)	
24	井ノグラウンド売却の再考	
25	新川防災公園に関連して ・井ノグラウンド売却は止めて ・体育館を地下でなく地上方式で	
26	公共建築物 平成28年耐震化100% できるだけ早く	
27	予算の適正化	
28	放射能 災害になったときのことを前もって考え、防災にそなえる計画	
29	放射能に対する対策の追加	
まとめ (3つ以内)	【理念】自然と利便性のバランスが取れ、長く住める街 「私の町」の意識(子供から老人まで)	投票欄 10
	【ソフト】多様な世帯に配慮したコミュニティ、ネットワーク作りの支援	投票欄 9
	【ハード】交通網・道路・森(大気) 公共建築物(公園・避難所)の充実	投票欄 8
残したい意見	ペットの避難についての啓蒙、連携づくり→家族であるペットとの避難について、啓蒙と隣接市・獣医師会との連携づくり	
	放射能対策への予算配分 清澄庭園、明治神宮の森のような、長期的環境作り計画	

グループ名		
第5回：基本計画に盛り込んだ方が良くと思うアイデアをまとめてください。		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	防災無線の整備	
2	町の防災推進者を育成する制度を他の自治体に先がけて行う!(防災士資格費支援)	
3	人生経験豊かな人々を町の防災推進者として、生かしていただく(独身者・1人暮らしへの設備)	
4	市役所から市民への防災提言(指針) ○備え(具体的)であっても目に触れ難い	
5	自衛隊との連携	
6	避難所=選挙での投票所として身近な存在としてほしい	
7	防災シンボルの設置(避難所の活用)	
8	地域のネットワークづくり(大人も子どもも参加できるもの)自治会の復活祭り お話しサロン	
9	地域と連携・身近な人の情報	
10	地域の防災訓練・防災知識の向上	
11	道路の確保・緊急車両が通れない	
まとめ (3つ以内)	町の防災推進者を育成する制度を	投票欄 18
	市役所から災害情報伝達方法拡充	投票欄 9
	防災シンボルの設置(避難所の活用)	投票欄 10
残したい意見	避難所選挙での投票所として身近な存在としてほしい	